

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市小学校	校長	光廣 敏樹	生徒指導主事	向井 千代子
-----	-------------	----	-------	--------	--------

取組事例名 『6年生に感謝の気持ちを伝えよう』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性」	3	「自己有用感・自己肯定感」	1

取組のねらい

- 学校のリーダーとして活躍してきた6年生に対して、感謝の気持ちを表現させる。
- コロナ禍の中でもできる方法を考え、5年生児童に企画・立案・分担・実行・振り返りをさせることにより主体性を育むとともに、取組を通して児童の自己有用感・自己肯定感を育む。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『この学校で学んでよかった』
----------	---------------------------

<p>○児童委員会5年生による企画・立案⇒各学年へ・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童が集まることはできないが、1人1人が感謝の気持ちを伝えたい。 ・6年生の姿を見て感謝を伝えたい。 ・卒業式には参加できないが、みんなでお祝いしたい。 </div> <p>①「6年生ありがとう・おめでとうメッセージ」の作製</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2～5年生 <ul style="list-style-type: none"> ・ハート型の折り紙を作り、1人1人がメッセージを書く。 ・2, 3年生のハートは5年生が作製する。 ・4, 5年生のために折り方動画を撮る。 ・5年生児童委員が教室を回り、作製のお願いと説明、回収を行う。 ・3月1日に6年生教室付近に掲示する。(卒業式会場にも掲示) ○1年生 <ul style="list-style-type: none"> ・1人1人がお礼のメダルを作製し、6年生に渡す。 <p>②「6年生ありがとうメッセージ」の放送(5年→1年の順) 3/1～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食時、各学年各クラスの代表が6年生へのメッセージを放送する。 ・放送日には5年生児童委員が発表者を各教室に迎えに行く。 ・メッセージ前後の放送や進行は、5年生放送委員が行う。 ・3月8日には、5年生児童委員が「6年生への感謝状」を読み、その後、6年生各クラスへ届ける。 <p>③「6年生のパレード」 3/8(火) 8:25～8:40 (進行は放送による)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 始めの言葉 2 校長先生の話 3 6年生のパレード(BGMでスタート) <ul style="list-style-type: none"> ・6年生は順路通りに校舎内を2列で歩く。 ・6年生は1年生が作ったメダルをつけて歩く。 ・他学年は、教室前で手を振る。 4 終わりの言葉 </div> <p>※ 全ての日程終了後、6年生から在校生へのメッセージを放送 ※ ①②③の様子や取組について、生徒指導だよりで発信</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・例年通りの『6年生を送る会』ができない現状の中で、「できること・やりたいこと」「実行するための計画」等を考えさせる。 『主体性』 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教室での交流ができないため、ハートの折り方を動画に撮ってわかりやすく伝えさせる。 ・全校児童一人一人に、6年生への感謝の気持ちを表現させる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで1年間をふり振り返りながら、6年生に伝えたいことを集約・表現させる。 ・5年生児童に6年生への感謝状を作製させる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・パレードする6年生に対して、感謝の気持ちを態度で表現させる。『コミュニケーション能力』 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生児童委員を中心に、役割分担をして会を運営させる。 『主体性』 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・①②③を通して自分たちのよさやがんばりを感じ取らせる。 『自己有用感・自己肯定感』 </div>
---	--

取組の成果と課題

コロナ禍の中、学校行事の中止や様々な活動の制限等があり、高学年児童の活躍の場が減っているため、学級活動の工夫や委員会活動の見える化等を通して児童の自己有用感を高める取組を進めてきた。その結果「クラス(学校)のみんなの役に立っている」と回答した児童は、1学期末85%→2学期末87%(全校)となっているが、高学年児童の自己有用感は、1,2学期末ともに83%であった。高学年児童の数値を向上させるのは難しかったが、卒業前に少しでも「役に立った自分」「感謝される自分」を感じ取って、中学校に進学してもらいたい。